



## 平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場会社名 株式会社インターアクション

上場取引所 東

コード番号 7725 URL <http://www.inter-action.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木地 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 木地 伸雄

TEL 045-788-8373

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	1,019	124.9	168	—	175	944.0	118	36.3
25年5月期第2四半期	453	△5.2	10	△84.5	16	△75.3	87	29.9

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 119百万円 (36.0%) 25年5月期第2四半期 88百万円 (32.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	11.80	11.78
25年5月期第2四半期	10.95	10.90

(注) 当社は、平成25年12月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	3,761	2,224	59.1	221.16
25年5月期	3,355	2,154	64.2	214.23

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 2,222百万円 25年5月期 2,153百万円

(注) 当社は、平成25年12月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	500.00	500.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年12月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年5月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	97.9	520	76.2	500	51.6	406	△2.8	40.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年12月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期2Q	10,052,100 株	25年5月期	10,052,100 株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	1,600 株	25年5月期	1,600 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期2Q	10,050,500 株	25年5月期2Q	7,953,002 株

(注) 当社は、平成25年12月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に該当株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、金融緩和政策や経済対策による円安傾向と株価の回復基調を背景に、企業収益の改善や個人消費の回復など、緩やかな回復傾向にあり、米国でも底堅い民需に支えられ緩やかな回復が続きました。一方、依然として続く欧州諸国の債務問題や中国などの新興国諸国でも成長率の低下が見られるなど、引き続き先行きがやや不透明な状況で推移いたしました。当社グループの主要取引先である半導体メーカーにおいては、一部の顧客でスマートフォンやタブレット端末向け製品の設備投資の動きが見られるものの、中長期的な投資戦略にはやや慎重な姿勢が見られました。このような状況の中、当社グループは、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置の実績につきましては、堅調に推移いたしました。太陽光発電関連製品につきましては、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」による太陽光発電システムの需要を見込み、遊休地等の活用のため商品化した「OHISAMA SYSTEM」の拡販に注力いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,019百万円（前年同四半期の売上高453百万円に比し、124.9%の増加）、売上総利益は566百万円（前年同四半期の売上総利益259百万円に比し、118.4%の増加）、営業利益は168百万円（前年同四半期の営業利益10百万円に対し、157百万円の利益増加）、貸与資産賃貸料及び支払利息等を加減した経常利益は175百万円（前年同四半期の経常利益16百万円に対し、158百万円の利益増加）、繰延税金資産の減少による法人税等調整額等を加減した四半期純利益は118百万円（前年同四半期の四半期純利益87百万円に対し、31百万円の利益増加）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

#### (光源装置)

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置につきましては、生産設備の増強を伴う光源装置本体への受注及び半導体メーカーの稼働率改善を受けたメンテナンスサービスが共に計画通りで推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は699百万円（前年同四半期の売上高304百万円に比し、129.4%の増加）、セグメント利益は382百万円（前年同四半期のセグメント利益134百万円に対し、248百万円の利益増加）となりました。

#### (太陽光発電関連製品)

太陽光発電関連製品につきましては、連結子会社である株式会社B I Jにおける「OHISAMA SYSTEM」の販売は、堅調に推移いたしました。連結子会社であるおひさま農場株式会社におきましては、メガソーラーも平成25年10月に稼働し、株式会社B I Jの発電所を含む売電収入は25百万円となりました。また、大洋州諸島地域でのクリーンエネルギー事業に関して、当社は「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトを開始し、ソロモン諸島の電力網の届かない過疎地域へソーラーホームシステム2,000台の設置を進めており、このプロジェクトによる売上高は、当第2四半期連結累計期間に86百万円計上しております。

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は318百万円（前年同四半期の売上高137百万円に対し、131.5%の増加）、セグメント損失は35百万円（前年同四半期のセグメント利益26百万円に対し、61百万円の利益減少）となりました。

#### (その他)

当第2四半期連結累計期間における画像検査装置の外部顧客に対する売上高は1百万円（前年同四半期の売上高10百万円）、セグメント利益は0.3百万円（前年同四半期のセグメント利益5百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ406百万円増加し、3,761百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ132百万円増加し、2,837百万円となりました。これは、原材料及び貯蔵品が104百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ273百万円増加し、923百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具（純額）が426百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ336百万円増加し、1,536百万円となりました。これは、前受金が92百万円減少したものの、短期・長期借入金及び社債の純増406百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、2,224百万円となりました。これは、四半期純利益118百万円を計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ12百万円増加し、1,535百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは40百万円の収入（前年同四半期は169百万円の支出）となりました。これは、たな卸資産の増加100百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益173百万円の計上があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは380百万円の支出（前年同四半期は40百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出296百万円、定期預金への預入による支出72百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは354百万円の収入（前年同四半期は62百万円の収入）となりました。これは、短期及び長期の借入れによる純収入が306百万円並びに社債の発行による収入98百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきまして、検査用光源装置につきましては、概ね計画通り推移する見込みであります。太陽光発電関連製品につきましては、「OH I S A M A S Y S T E M」の販売は堅調に推移する見込みであります。また、「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトについても、当第2四半期連結累計期間において設置計画の変更による遅延は生じたものの、第3四半期連結会計期間以降において遅延による影響は解消される見込みであります。しかし、大規模太陽光発電所案件につきましては、欧州投資会社との合同事業の基本方針について合意したものの、詳細につき意見の相違があり、最終的な着手には至っていない現状であります。また、信託受益権スキームによる太陽光発電所の設置は、第1号案件の鹿屋市高隅町発電所は今期中の発電を予定しておりますが、その他太陽光発電所は大型案件用の土地の取得が遅延しているため、当初想定よりも大幅に下振れする見込みとなっております。

以上の理由から、通期の連結業績予想については、平成26年1月10日に発表しましたとおり、売上高は3,000百万円（当初予想の売上高4,543百万円に比べ34.0%の減少）、営業利益520百万円（当初予想の営業利益591百万円に比べ71百万円の利益減少）、経常利益500百万円（当初予想の経常利益604百万円に比べ104百万円の利益減少）、当期純利益は406百万円（当初予想の当期純利益558百万円に比べ152百万円の利益減少）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,522,863	1,607,394
受取手形及び売掛金	328,201	300,610
営業投資有価証券	260,000	260,000
商品及び製品	26,978	29,001
仕掛品	269,213	261,474
原材料及び貯蔵品	118,199	223,121
その他	181,928	158,448
貸倒引当金	△1,721	△2,218
流動資産合計	2,705,663	2,837,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	231,856	236,767
機械装置及び運搬具(純額)	39,210	465,334
土地	117,663	118,413
その他(純額)	200,350	32,377
有形固定資産合計	589,080	852,892
無形固定資産		
その他	6,589	7,338
無形固定資産合計	6,589	7,338
投資その他の資産		
投資有価証券	236,878	236,878
その他	93,043	102,481
貸倒引当金	△276,163	△276,163
投資その他の資産合計	53,758	63,196
固定資産合計	649,428	923,427
資産合計	3,355,092	3,761,261
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	71,326	83,169
短期借入金	173,000	280,000
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	118,708	139,672
未払法人税等	21,340	24,272
前受金	293,968	201,820
製品保証引当金	3,238	3,271
その他	98,921	102,802
流動負債合計	780,503	855,009
固定負債		
社債	—	80,000
長期借入金	386,198	564,873
退職給付引当金	8,565	9,410
その他	25,255	27,702
固定負債合計	420,018	681,985
負債合計	1,200,522	1,536,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,982	610,982
資本剰余金	1,793,555	1,537,028
利益剰余金	△254,674	70,224
自己株式	△1,911	△1,911
株主資本合計	2,147,951	2,216,324
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,127	6,451
その他の包括利益累計額合計	5,127	6,451
新株予約権	1,490	1,490
純資産合計	2,154,569	2,224,266
負債純資産合計	3,355,092	3,761,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	453,182	1,019,029
売上原価	193,941	452,869
売上総利益	259,240	566,160
販売費及び一般管理費	248,770	398,145
営業利益	10,470	168,014
営業外収益		
受取利息	767	340
受取配当金	1	101
貸与資産賃貸料	20,079	18,830
その他	2,371	6,180
営業外収益合計	23,219	25,451
営業外費用		
支払利息	4,554	8,528
為替差損	1,055	1,158
貸与資産諸費用	5,626	5,102
その他	5,643	3,191
営業外費用合計	16,879	17,981
経常利益	16,809	175,484
特別損失		
固定資産除却損	—	2,276
特別損失合計	—	2,276
税金等調整前四半期純利益	16,809	173,208
法人税、住民税及び事業税	1,143	25,659
法人税等調整額	△71,388	28,924
法人税等合計	△70,245	54,583
少数株主損益調整前四半期純利益	87,055	118,625
四半期純利益	87,055	118,625

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,055	118,625
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,147	1,324
その他の包括利益合計	1,147	1,324
四半期包括利益	88,202	119,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,202	119,949
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,809	173,208
減価償却費	13,416	32,935
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△307	497
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,816	32
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	589	845
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,400	—
受取利息及び受取配当金	△768	△441
支払利息及び保証料	5,230	9,438
為替差損益 (△は益)	1,350	2,614
有形固定資産除却損	—	2,276
たな卸資産評価損	2,290	3,348
売上債権の増減額 (△は増加)	△51,127	27,591
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△111,033	△100,123
仕入債務の増減額 (△は減少)	33,841	11,843
その他	△51,975	△99,003
小計	△162,899	65,063
利息及び配当金の受取額	55	376
利息及び保証料の支払額	△4,717	△7,541
法人税等の支払額	△2,281	△17,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	△169,842	40,194
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△72,000
有形固定資産の取得による支出	△37,633	△296,902
無形固定資産の取得による支出	—	△1,775
投資有価証券の取得による支出	△1,082	—
敷金の差入による支出	△2,225	—
敷金の回収による収入	243	70
貸付けによる支出	—	△20,000
貸付金の回収による収入	—	10,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,698	△380,607
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△84,000	107,000
長期借入れによる収入	220,000	258,000
長期借入金の返済による支出	△135,925	△58,361
社債の発行による収入	—	98,090
社債の償還による支出	△10,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22	△2,055
新株予約権の発行による収入	2,780	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	106,452	—
配当金の支払額	△36,417	△48,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	62,867	354,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△470	△1,196
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△148,143	12,531
現金及び現金同等物の期首残高	905,194	1,522,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	757,050	1,535,394

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年8月28日開催の定時株主総会決議に基づき、その他資本剰余金のうち206,273千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行ったこと等により、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,537,028千円、利益剰余金が70,224千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光源装置	太陽光発電 関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	304,851	137,469	442,321	10,860	453,182
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	304,851	137,469	442,321	10,860	453,182
セグメント利益	134,611	26,177	160,788	5,574	166,363

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	160,788
「その他」の区分の利益	5,574
全社費用(注)	△153,602
たな卸資産の調整額	△2,290
四半期連結損益計算書の営業利益	10,470

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光源装置	太陽光発電 関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	699,379	318,300	1,017,679	1,350	1,019,029
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	699,379	318,300	1,017,679	1,350	1,019,029
セグメント利益又は損失(△)	382,772	△35,191	347,581	398	347,980

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	347,581
「その他」の区分の利益	398
全社費用(注)	△176,617
たな卸資産の調整額	△3,348
四半期連結損益計算書の営業利益	168,014

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。